

平成20年10月期 第1四半期財務・業績の概況（非連結）

平成20年2月29日

上場会社名 ファースト住建株式会社 上場取引所 大証二部  
 コード番号 8917 URL <http://www.f-juken.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 雄司  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 伊木 雅則 TEL (06) 4868-5388

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年10月期第1四半期の業績（平成19年11月1日～平成20年1月31日）

(1) 経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年10月期第1四半期	7,902	△24.6	424	△58.1	398	△59.8	231	△60.5
19年10月期第1四半期	10,474	9.0	1,014	4.2	991	3.3	585	3.3
19年10月期	46,497	—	3,490	—	3,419	—	2,022	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年10月期第1四半期	13	68	—	—
19年10月期第1四半期	34	65	—	—
19年10月期	119	69	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20年10月期第1四半期	26,968		13,632		50.5		806	67
19年10月期第1四半期	29,660		12,335		41.6		729	95
19年10月期	28,790		13,604		47.3		804	99

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年10月期第1四半期	△1,111		△10		△799		6,838	
19年10月期第1四半期	△1,350		△15		△57		6,235	
19年10月期	3,471		△62		△2,307		8,760	

2. 配当の状況

(基準日)	中間期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
19年10月期	10	00	12	00	22	00
20年10月期	—	—	—	—	22	00
20年10月期(予想)	10	00	12	00		

3. 平成20年10月期の業績予想(平成19年11月1日～平成20年10月31日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	20,000	△16.4	1,100	△51.4	1,050	△52.6	600	△55.0	35	50
通期	45,000	△3.2	2,900	△16.9	2,800	△18.1	1,600	△20.9	94	68

4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際に業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、企業収益は底堅く推移しているものの、原油価格の高騰や米国におけるサブプライム住宅ローン問題を背景とした景気の減速等の影響を受け、回復基調が緩やかになる傾向が現れております。こうした先行きに対する不透明感が強まっていることから、個人消費についてもおおむね横ばいで推移しており、今後も原油価格の動向や金融資本市場の変動、内外経済の動向には、引き続き留意が必要であります。

このような環境の中、不動産業界におきましては、企業業績の回復や投資資金の流入を背景とした土地価格の上昇や建築資材価格の上昇など、コストが増加する要因がある一方、個人消費の改善が進まないことから、これらのコストの増加を販売価格へ転嫁することができず、引き続き厳しい環境が続いております。当社ではこのような状況に対し、分譲用地の仕入段階での市場調査に基づく綿密な計画が重要であると考え、的確に顧客ニーズを反映した商品づくりや適切な販売価格の設定に努めてまいりました。この方針の下、近畿地区にこれまで拡大してまいりました本社を含めた16の営業拠点を中心に、従来からの事業エリアである兵庫県南部の阪神間及び大阪府北部での地域に密着した営業活動を行うとともに、兵庫県南西部、大阪府南部、京都府南部、奈良県、滋賀県といった周辺地域への積極的な進出を進めております。しかしながら、分譲用地仕入において綿密な調査を行うために従来よりも労力を要することとなり、分譲用地仕入が思うように進んでおらず、たな卸資産の在庫水準が低下していたことから、前年同期に比べて販売棟数は減少いたしました。利益率につきましても、前事業年度の後半から、木材を中心とする資材価格の上昇により、従来よりも利益率が低下しておりましたが、当第1四半期におきましても依然として改善には至らず、前年同期を下回る状況となっております。

これらの結果、当第1四半期における業績は、売上高79億2百万円（前年同期比 24.6%減）、営業利益4億24百万円（同 58.1%減）、経常利益3億98百万円（同 59.8%減）、四半期純利益2億31百万円（同 60.5%減）となりました。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は269億68百万円、純資産は136億32百万円、自己資本比率は50.5%となりました。また、当第1四半期末における現金及び現金同等物は68億38百万円となり、前期末に比べて19億21百万円減少しております。

各キャッシュ・フローの状況と要因は以下のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により使用した資金は、11億11百万円となりました。主な要因は、税引前四半期純利益3億98百万円を獲得した一方、仕入債務の減少額7億95百万円、法人税等の支払額5億9百万円、たな卸資産の増加額1億11百万円等による資金の使用であります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、10百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出5百万円です。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、7億99百万円となりました。その要因は、短期借入金の純減少額6億3百万円、配当金の支払額1億96百万円です。

## 3. 業績予想に関する定性的情報

平成20年10月期の業績予想につきましては、第1四半期までの業績が概ね当初計画通り推移していることから、平成19年12月14日に公表いたしました中間期及び通期の業績予想に変更はありません。

## 4. その他

## (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用の計上基準については見積実効税率を使用しております。

## (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

(単位：千円未満切捨, %)

科目	前年同四半期末 (平成19年10月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年10月期 第1四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年10月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	6,235,030	6,838,571	603,541	9.7	8,760,041
2. たな卸資産	21,987,958	18,910,788	△3,077,170	△14.0	18,799,605
3. 前渡金	194,593	180,178	△14,414	△7.4	188,093
4. その他	408,316	170,608	△237,708	△58.2	177,735
流動資産合計	28,825,899	26,100,147	△2,725,752	△9.5	27,925,476
II 固定資産					
1. 有形固定資産	696,173	733,441	37,267	5.4	737,719
2. 無形固定資産	22,668	43,503	20,835	91.9	35,161
3. 投資その他の資産	115,614	91,508	△24,105	△20.8	92,305
固定資産合計	834,456	868,453	33,996	4.1	865,186
資産合計	29,660,355	26,968,600	△2,691,755	△9.1	28,790,662
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形	861,680	361,620	△500,060	△58.0	444,520
2. 支払信託	1,877,170	1,840,130	△37,040	△2.0	1,889,710
3. 工事未払金	1,882,671	1,487,022	△395,649	△21.0	2,150,352
4. 短期借入金	11,652,000	8,982,000	△2,670,000	△22.9	9,585,000
5. 未払法人税等	404,685	173,681	△231,004	△57.1	533,000
6. 前受金	176,958	114,927	△62,030	△35.1	125,928
7. その他	384,745	343,628	△41,116	△10.7	426,598
流動負債合計	17,239,910	13,303,010	△3,936,900	△22.8	15,155,109
II 固定負債					
1. 退職給付引当金	22,173	33,130	10,957	49.4	31,505
2. 役員退職慰労引当金	62,300	—	△62,300	△100.0	—
固定負債合計	84,473	33,130	△51,343	△60.8	31,505
負債合計	17,324,384	13,336,141	△3,988,243	△23.0	15,186,614
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	1,584,000	1,584,000	—	—	1,584,000
2. 資本剰余金	1,338,350	1,338,350	—	—	1,338,350
3. 利益剰余金	9,414,216	10,710,784	1,296,568	13.8	10,682,372
4. 自己株式	△595	△674	△79	13.4	△674
株主資本合計	12,335,971	13,632,459	1,296,488	10.5	13,604,047
純資産合計	12,335,971	13,632,459	1,296,488	10.5	13,604,047
負債、純資産合計	29,660,355	26,968,600	△2,691,755	△9.1	28,790,662

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円未満切捨, %)

科目	前年同四半期 (平成19年10月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年10月期 第1四半期)	増減		(参考) 前期 (平成19年10月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	10,474,822	7,902,155	△2,572,666	△24.6	46,497,357
II 売上原価	8,824,638	6,932,765	△1,891,873	△21.4	40,278,082
売上総利益	1,650,183	969,390	△680,793	△41.3	6,219,274
III 販売費及び一般管理費	636,180	544,887	△91,292	△14.4	2,728,426
営業利益	1,014,003	424,502	△589,500	△58.1	3,490,848
IV 営業外収益	1,290	1,193	△97	△7.6	32,741
V 営業外費用	23,419	27,152	3,732	15.9	103,959
経常利益	991,873	398,543	△593,329	△59.8	3,419,629
VI 特別利益	—	—	—	—	50,800
税引前四半期 (当期) 純利益	991,873	398,543	△593,329	△59.8	3,470,429
税金費用	406,306	167,336	△238,970	△58.8	1,447,709
四半期(当期) 純利益	585,566	231,207	△354,359	△60.5	2,022,720

(3) (要約) 四半期株主資本等変動計算書

当四半期 (自 平成19年11月1日 至 平成20年1月31日)

(単位: 千円未満切捨)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
平成19年10月31日 残高	1,584,000	1,338,350	10,682,372	△674	13,604,047	13,604,047
当四半期中の変動額						
剰余金の配当	—	—	△202,795	—	△202,795	△202,795
四半期純利益	—	—	231,207	—	231,207	231,207
当四半期中の変動額合計	—	—	28,411	—	28,411	28,411
平成20年1月31日 残高	1,584,000	1,338,350	10,710,784	△674	13,632,459	13,632,459

(4) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円未満切捨)

	前年同四半期 (平成19年10月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年10月期 第1四半期)	(参考) 前期 (平成19年10月期)
区分	金額	金額	金額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税引前四半期(当期)純利益	991,873	398,543	3,470,429
減価償却費	11,313	12,472	52,725
引当金の増減額(減少：△)	7,076	3,525	△48,792
受取利息及び受取配当金	△147	△245	△832
支払利息	22,759	25,430	99,748
たな卸資産の増減額(増加：△)	△1,035,903	△111,182	2,103,663
前渡金の減少額	492,506	7,915	499,006
その他流動資産の増減額(増加：△)	△232,185	5,453	7,218
仕入債務の減少額	△484,563	△795,810	△621,502
前受金の減少額	△45,395	△11,000	△96,425
その他流動負債の増減額(減少：△)	19,130	△96,819	86,677
その他	△23,535	△15,055	△17,914
小計	△277,070	△576,773	5,534,003
利息及び配当金の受取額	147	245	832
利息の支払額	△22,589	△24,530	△100,087
法人税等の支払額	△1,051,101	△509,954	△1,963,029
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,350,614	△1,111,013	3,471,718
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	△14,707	△5,918	△46,333
その他	△535	△4,594	△15,772
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,242	△10,513	△62,105
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金の純増減額(減少：△)	97,000	△603,000	△1,970,000
配当金の支払額	△154,453	△196,943	△337,832
その他	—	—	△79
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57,453	△799,943	△2,307,912
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	—	—	—
<b>V 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)</b>	△1,423,310	△1,921,469	1,101,700
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	7,658,340	8,760,041	7,658,340
<b>VII 現金及び現金同等物の期末残高</b>	6,235,030	6,838,571	8,760,041